



平成29年度 事業報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク
2018年3月31日

2017年度 事業の成果（サマリー）

事業部門

1. 国内のダンスアーティストの育成と創造環境作り

若手振付家とダンサーのためのプログラム

このプログラムは、将来を見据えた若手の振付家・ダンサーの創作活動に刺激をあたえ、ダンスの可能性と力を促進していくことにあります。振付家・ダンサーが自己の才能を自身で発見し磨くための具体的なプログラムとして、城崎国際アートセンターにて実施しました。ファシリテーターは、青木尚哉と余越保子。合宿形式で集中してダンス作品制作を行える城崎国際アートセンターの環境はアーティストにとって最高の場所でした。

2. 海外との交流、ネットワーク作り

JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクトVOL.7 2017日本ーオーストラリア 共同制作プログラム

2017年猛暑の夏、松山で約1か月に渡り滞在制作したダンス映画作品「坊っちゃん合宿」が完成しました！！
ワールドプレミアとして2/22松山シアターNECO、2/24.25京都芸術センターで上映会を開催しました。ほとんどが松山のダンサーが出演し、松山の上演は、大入り満員で、大盛り上がりでした。

3. 文化芸術による被災地の復興支援

ヒューマンセレブレーション 三陸国際芸術祭2017

2014年より岩手県大船渡市をメイン会場に、毎年開催してきました三陸国際芸術祭。今年度は、すべてを流されてしまった大船渡駅周辺の新しいまちづくりの一環として開催しました。しかし今年は雨にたたられ、4日間の公演日の内、3日間雨に降られ、急遽屋内に移動するなど大変でしたが、そのおかげで、芸能と観客の距離が近く、濃密な時間を過ごすことが出来ました。

「Sanriku-Asian Network Project」2017～東北とアジアを芸能で繋ぐ～

2015年より、国際交流基金アジアセンターとJCDNの共催で、年間を通して三陸とアジアの芸能交流を行っています。2017年度は、三陸国際芸術祭に、インドネシアのチルボン仮面舞踊団、マレーシアよりバジャウ民族舞踊団を招へい。2018年3月には、三陸の芸能を行っている高校生など8人をバリ島に派遣し、芸能交流を行いました。

4. 「すべての人がダンスと出会う」機会を作る、コミュニティダンス

こちかぜ（東風）キッズダンス 一東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた地域力創造プログラム2017

2014年6月より、京都市東山区・東山いきいき市民活動センターを拠点にスタートした、周辺地域の子どもたちとのコミュニティダンス(*)・プロジェクトの4年目です。今年は後期のプログラムで三条学童保育所に通う子どもたちが先輩になり、公募で集まった子どもと一緒にこちかぜキッズのレパトリーを踊り、子どもたちが一段と成長しました。また公募の保護者からは、こんな取り組みがもっとあればいいのにと期待を寄せられました。

コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール2017

コミュニティダンス・ファシリテーターを国内で養成することを目的に、英国のFoundation for Community Danceが、毎年夏に開講している「Summer School」をモデルに、ダイアナ・アマンズ、セシリア・マクファーレンを講師に招き実施、今年度で4年目。従来の〔基礎〕〔応用〕の2コースに加え、2017年度は新たに〔プロ〕コースも新設。2年間のカリキュラム終了後のフォローアップ体制を充実させました。今まで以上に、社会とダンスをつなぐ仕事に興味を持たれる方の幅が広がり、福祉施設職員、看護師、公立ホール職員、パリーガルなど、様々な方が受講されました。

5.子どもたちの創造力・表現力・コミュニケーション力を育む、創造的なダンス教育の普及

文部科学省「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」 ＜コーディネーター実施方式＞

2013年と、2015年からは毎年実施。2017年度は、沖縄県、滋賀県大津市、大阪府堺市の3地域で実施しました。昨年度まで3年継続して行っていた和歌山市のコーディネーターが独自に実施できるようになり、代わりに堺市で取り組みを始めました。これはJCDNにとって大変うれしいことでした。初めて開催した堺市では、熱心で素晴らしい先生方に出会いました。そのうちのお一人は、本事業を通して表現運動を学び「子どもたちを夢中にさせる「体育」学習を目指して」と題した論考をまとめて、教育大や全国体育授業研究会での発表をされます。

6.ダンスに関わるプログラムの企画立案・コーディネート

鳥の演劇祭10コーディネート『サング・シカノ（鹿野の血）』

JCDNがコーディネートし、鹿野町の町民の方々とダンス作品作りを開始してから10年目を迎えるとりつとダンス。鹿野町に住むメンバーを中心に、継続的に活動を行っています。今年は新メンバーを迎え、ニューヨークから京都に拠点を移して活躍する振付家・余越保子さんと新作を作りました。

さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業 チームたまーりん身体表現ワークショップ+発表公演

さいたまスーパーアリーナが主催する青少年育成事業。一昨年度より引き続き、振付家のコーディネートやワークショップ内容、公演プログラムの企画検討などを協働した。

7.その他、講習・政策提言・アドバイザー等

委員・アドバイザー等

舞踊年鑑 編集委員、城崎国際アートセンター アドバイザー、京都府・文化の知恵袋委員（佐東）、平成29年度公共ホール現代ダンス活性化事業 コーディネーター（佐東・神前）

講座・セミナー

アーツマネジメント研修派遣特別講座トークセッション＜沖縄＞、「3.11いわて文化復興フォーラム」＜盛岡＞、他

執筆等

「ダンスワーク」往復書簡（佐東）、琉球新報リレーコラム連載（神前）、他

管 理 部 門

8. コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信

JCDNwebサイトリニューアル

会員へのサービス強化とJCDN自身の活動の見える化を目的に、webサイトをリニューアル改訂。2017年11月より新サイト運用を開始。情報発信力とアーカイブ機能強化の両立を図り、現在、平均月1、2件の掲載希望がある。

JCDN会員向けサービス改訂

会員の方へのサービス力向上をめざし、提供内容と対象、方法の見直しを図った。改定後の掲載希望は、メルマガ月平均3件、NEWSコンテンツ月1件程度、不定期DMサービス1回6件程度。

若手振付家とダンサーのためのプログラム

事業区分	主催事業	事業費の金額	500千円	従事者	1名
------	------	--------	-------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

将来を見据えた若手の振付家・ダンサーの創作活動に刺激をあたえ、ダンスの可能性と力を促進していくことを目的に実施する事業。東京・京都から2名の振付家をキュレーター＆ファシリテーターとして迎え、城崎国際アートセンターにて、テクニックと身体理論に基づき、振付家・ダンサーが自己の才能を自身で発見し磨くための具体的なオリジナルプログラムとして実施。参加メンバーは全国公募より選出、最終日には公開稽古として成果をショージングした。

実施体制

- 主催：JCDN ■城崎国際アートセンターレジデンスプログラム
- 講師：青木尚哉、余越保子

実施内容（日時・場所・概要）

青木尚哉 ＜グループワーク&リサーチ＞

- 参加メンバー：近土歩、大森美沙、小松菜々子、敷地理、宮川絵理、村川菜乃、黒田健太、金愛珠、中村優希、山本和馬
- 実施期間：2017年11月29日～12月12日
- 公開稽古：12月9日（土）14:00～／12月10日（日）14:00～

余越保子 ＜ダンス&プロセス＞

- 参加メンバー：うえだななこ、上野愛実、黒田健太、渋谷陽菜、田中美沙子、松本聖也
- 実施期間：2017年12月15日～27日
- 公開稽古：12月27日（水）16:00～

JCDN「若手振付家とダンサーのためのプログラム」

＜グループワーク&リサーチ＞ 青木尚哉作品 公開稽古

＜ダンス&プロセス＞ ファシリテーター：余越保子 公開稽古

■日時：

青木尚哉 ①12月9日（土）14:00～／②12月10日（日）14:00～

余越保子 ③12月27日（水）16:00～

■会場：城崎国際アートセンター

■料金：観覧無料（※事前申込必要）

これまで城崎国際アートセンターKIACで、「踊りに行くぜ!!」Ⅱ（セカンド）の作品制作で滞在制作を行ってきましたが、今回、初めての試みとして、若手振付家・ダンサーを育成するプログラムを実施しました。ファシリテーターに前半は東京から青木尚哉さんを迎え、主にダンサーを育成する＜グループワーク&リサーチ＞。後半は、京都から余越保子さんを迎え、振付家の育成プログラム＜ダンス&プロセス＞を年末12/27まで行いました。

KIACは、スタジオ6つと劇場が24時間使用でき、宿泊施設もあり、城崎温泉に市民と同じ料金で使用できるという、世界中でも類まれな施設です。ここでこれまで、エスタブリッシュなアーティストが作品制作に集中して取り組んできたわけですが、次世代の才能を発掘し育てるプログラムを実施するには最適な場所であることを再認識しました。それほど日常生活とクリエイションがかけはなれた生活をしている若いアーティストが多いという現状があります。

この機会に参加しようと思う志のある若手ダンサー、振付家が今回の経験を活かせる環境をさらに作りだしていく必要があるでしょう。作品をつくれる環境、経済、発表する場、この3つの機会を、きちんとまっとうに活動すれば手に入るという環境が必要だと思います。そして参加した側も、振付家とダンサーの違い、自分がどちらを目指すのかも、今回のプログラムに参加してわかることもあったことでしょう。この試みはKIACさんと次年度から共同で進めていきたいと考えています。（水野）

JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクトVOL.7

2017日本ーオーストラリア 共同制作プログラム

事業区分	主催事業	事業費の金額	8,000千円	従事者	1名
------	------	--------	---------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

■AIRプロジェクト

日本と海外、両国のダンス・アーティストが、今まで経験したことがない互いの国の文化・歴史、伝統芸能・芸術に影響や触発を受けるようなダンス国際交流を通じて、アーティストとしての活動の視野を広め、共同制作を通して、双方が質の高い同時代の芸術文化を創造・共有し発信していくことを目的に実施する事業。JCDNの持つ国内外のネットワークを活かし、日本各地のダンスの拠点となる劇場・芸術団体組織等と連携を結び、海外から招聘するダンス・アーティストの作品制作を可能にするダンス・イン・レジデンスの機会・拠点をつくりだす。また、海外の芸術団体組織とパートナーを組み、その国のダンス・アーティストを招聘し、日本人アーティストとの共同作品制作を行なうことを促進、作品を国内外に発信する。同時に日本人アーティストが、相手国で滞在制作を行えるよう、両国間でのエクスチェンジ制作可能な環境をつくりだす。

■2017年度事業の方針

AIRプログラム初の試みとしてダンス映画を制作。公募より選出したオーストラリア・メルボルンより監督・振付・脚本のネイサン・スミス、監督・脚本のマックス・ポラード、カメラマンのマット・ウィルソンを招聘し、夏目漱石の小説「坊っちゃん」からインスパイヤーを受けた作品「坊っちゃん合宿」の制作を松山で実施。日本人の振付家・出演者などと共同制作することで、今後のダンス映画の活性化に繋がることを目的とした。滞在期間中は、ダンス・ワークショップやフォーラムを実施した。

実施体制

平成29年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業

■主催：JCDN

■コーディネーター：（オーストラリアメルボルン）ダンスハウス、（日本松山）NPO法人 クオリティ・アンド・コミュニケーションオブアーツ(カコア)

■プログラム・ディレクター：水野立子 ■制作：入江初美(カコア)

■デザイン：山田マサル (Pylon inc.) ■フォーラム制作：中山佐代

『ダンス映画「坊っちゃん合宿」 Botchan Retreat ランニング マン フィルム』

■監督：ネイサン・スミス マックス・ポラード

■プロデュース：水野立子 (JCDN) ■撮影監督：マット・ウィルソン

■文化コーディネーター・通訳・脚本翻訳：ゆみうみうまれ

■編集：ドリユー・モーデン ■振付：ネイサン・スミス ■音楽：ケーガン・ジョイス

■作：ネイサン・スミス ■脚本：ネイサン・スミス、マックス・ポラード トム・ポラード

■協力：ダンスハウス（オーストラリアメルボルン）

■出演：黒田健太、得居幸、合田緑、合田有紀、宇都宮忍、大北悟、海野貴彦、佐伯美晴、泰山咲美、小泉紗奈、田中慶子、田中教夫、福德マリ子、向井明、向井貴美、渡部和也、東雲高校演劇部、南萌子、戒田紗弥佳、池田菜央、高橋遥香、黒川桃華、松本佳子、宮田優衣、梅原里緒

■広報制作：入江初美 (カコア)

■ロケーション・コーディネーター：福岡晋也、（一社）アジア・フィルム・ネットワーク、（株）バランス

■後援：松山市 ■照明：久禮信代 (マジック・ハンド) ■録音：増田岳彦

■撮影アシスタント：三浦彰浩 吉田真也 西村大二郎 西谷文昭 ■照明アシスタント：山内知江子

■音響デザイン：ジャレッド・ドワイヤー ■衣装協力：八木かず美 田中慶子

■記録スチール撮影：元屋地伸広

昨年夏、松山で撮影したダンス映画の編集がようやく終了し、無事、上映会を終えることができました。撮影地松山での上映会は、150席のシアターNECOが売り止めになり、急遽、追加上映会を行い合計220名の来場者となるほど盛況でした。今回のAIR事業では始めてダンス映画制作に取り組みました。舞台作品を観る観客層から映画というメディアでの制作によりダンスに興味を持ってもらう観客層を広げることができたと思います。「坊っちゃん合宿」の松山での真夏の野外撮影は大変なことも多かったのですが、完成した映画を観るとあっという間で、カットしたシーンは数多くありました。が、編集された22分の中に凝縮された世界がありました。

次年度は、日本の振付家・映像作家がメルボルンで撮影する機会をつくれるようメルボルンのダンスハウスが計画中です。決定することができ次第お知らせします。（水野）

ヒューマンセレブレーション 三陸国際芸術祭 2017

事業区分	主催事業	事業費の金額	12,000千円	従事者	2名
------	------	--------	----------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

4年目を迎える三陸国際芸術祭。三陸の郷土芸能の国内外への発信、現代芸術と郷土芸能との出会い、被災地に全国の方々が訪れるきっかけになることなどを目的に行ってきました。これまでメイン会場である大船渡市の共催を得ることが、ハード面の復興のために無理だったのですが、4年継続して開催してきたことにより、次年度からの共催を得ることが出来ました。文化芸術による復興は、これからがスタートだと思える年でした。

実施体制

平成29 年度戦略的芸術文化創造推進事業

- 主催：文化庁〇NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）、三陸まちづくりアート実行委員会（大船渡）、八戸三陸国際芸術祭実行委員会（八戸）
- 共催：公益社団法人全日本郷土芸能協会、八戸市、みんなのしるし合同会社、一般社団法人アーツグラウンド東北
- 助成：損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）、日本万国博覧会記念基金、公益財団法人 福武財団
- 協力：国際交流基金アジアセンター、トヨタ自動車株式会社、アサヒグループホールディングス株式会社、種差観光協会、白浜女房口大船渡プラザホテル、大船渡保育園、かんのタクシー、キャッセン大船渡、スーパーマイヤ、市内学童保育
- 後援：岩手県、岩手県教育委員会、宮城県、宮城県教育委員会、大船渡市、大船渡市教育委員会、宮古市、陸前高田市、大槌町、気仙沼市、女川町、大船渡市郷土芸能協会、（一社）大船渡市観光物産協会、（公社）八戸観光コンベンション協会、八戸商工会議所、八戸市文化協会、岩手日報社、東海新報社、デーリー東北新聞社、東奥日報社、河北新報社、三陸新報社、IBC 岩手放送、テレビ岩手、岩手朝日テレビ、めんこいテレビ、HTV 八戸テレビ、ATV 青森テレビ、RAB青森放送、ABA 青森朝日放送、FM ねまらいん、コミュニティラジオ局BeFM、FM 青森
- プロデューサー：佐東 範一（NPO 法人JCDN）
- プログラムディレクター：前川 十之朗（みんなのしるし合同会社）
- プログラムディレクター：郷土芸能 阿部 武司（東北文化財映像研究所）
- プログラムディレクター：海外芸能 武藤 大祐（舞踊評論）
- コーディネーター：郷土芸能 小岩 秀太郎（（公社）全日本郷土芸能協会）
- コーディネーター：八戸プログラム 今川 和佳子（（一社）アーツグラウンド東北）
- フェスティバルマネージャー：千田 優太（（一社）アーツグラウンド東北）、神前 沙織（NPO 法人JCDN）
- 広報：坪井 奈穂美、佐藤 晃正（みんなのしるし合同会社）、佐藤 典之、野田 ゆま、寺西 昭博（イトナミトミノムシ）
- テクニカルディレクター：關 秀哉（RYU）
- 制作：斎藤 啓、高橋 正和、鈴木 拓
- 芸能付スタッフ：磯島 未来、緒方 祐香、片山 千穂、神野 知恵、小山 柚香
- フェスティバルアドバイザー：稲田 奈緒美（舞踊研究・批評）、加藤 種男（クリエイティブ・ディレクター）、吉本 光宏（ニッセイ基礎研究所）

実施内容（日時・場所・概要）

- 名称：三陸国際芸術祭2017
Sanriku International Arts Festival 2017
- テーマ：宮みから、アートへ。
- 開催期間：2017年8月5日（土）～8月19日（土）
大船渡 8月5日～8月13日
八戸 8月19日



【主催プログラム】

＜メイン・プログラム＞

- 開催日：8月11日（金・祝）～12日（土）
- プレ・イベント 8月5日（土）～8月10日（木）
- クロージング・パーティ 8月13日（日）
- 会場：大船渡駅周辺地域
- 出演者数：22 団体／180 名
- 来場者数：約15,000 人

＜三陸国際芸術祭in 八戸＞

- 開催日：8月19日（土）
- 会場 三陸復興国立公園種差海岸天然芝生地（大雨のため、南浜公民館へ変更）
- 出演者数 4 団体／50 人（公民館での開催となり、1 団体が出演キャンセル）
- 来場者数 約300 人

【連携プログラム】

＜第42 回三陸港まつり＞

- 開催日：8月16日（水）
- 会場：大船渡市越喜来漁港（大雨のため、大船渡市立三陸公民館へ変更）
- 出演者数：7 団体／120 人
- 来場者数：約300 人
- 主催：三陸港まつり実行委員会



その他の年間プログラム

ヒューマンセレブレーション三陸国際芸術祭2017 関連企画「習いに行くぜ！！東北へ！」

震災後の被災地の方々との交流の中で、被災地の方々が中心となり新しい文化を作っていくことができないかと考え、2013年に開始した事業。東北の文化芸能の多様性と奥深さ、郷土芸能の重要性に直接触れ、習い、お話を伺うことによって、外からくる文化芸術ではなく、東北内にある文化芸術の活性化を目指す。2017年度は昨年に引き続き、大船渡市の芸能（永浜鹿踊・甫嶺獅子舞）を対象とした。

- 主催：JCDN、文化庁
- 共催：みんなのしるしLLC.、一般社団法人アーツグラウンド東北
- 協力：大船渡市郷土芸能協会

～ 永浜鹿踊りを習う ～

- 日程：2018年3月19日（月）19：00-21：00
- 会場：永浜地域公民館（永浜地区防災集団移転住宅団地内）
- 参加料：無料

～ 甫嶺獅子舞を習う ～

- 日程：2018年3月10日（火）19：00-21：00
- 会場：甫嶺地域防災コミュニティセンター（大船渡市三陸町越喜来甫嶺）
- 参加料：無料

ヒューマンセレブレーション三陸国際芸術祭2017 関連企画「権現道化コミュニティ祭り」

サンフェスの開催地・大船渡で、地域の方々とコミュニティダンスを創作。今回は三陸・気仙地域に伝わる幻の風習「道化（どうげ/どげ）」をモチーフとした新・道化ダンスをつくり、『権現道化コミュニティ祭り』で上演した。

平成29年度岩手県若者文化振興事業・大船渡市市民活動支援事業

- 主催：権現舞・獅子舞系連絡会発足準備会
- 共催：新・三陸自治会館“ば”
- 協力：大船渡市郷土芸能協会・NPO法人JCDN
- 後援：大船渡市教育委員会
- 日時：2018年3月21日（水・祝）10：00～12：30
- 会場：リアスホール マルチスペース・和室
- 出演：甫嶺獅子舞、中沢権現、市民による道化ダンス

「Sanriku-Asian Network Project」2017 ～東北とアジアを芸能で繋ぐ～

事業区分	主催事業	事業費の金額	20,000千円	従事者	2名
------	------	--------	----------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方は、郷土芸能の宝庫と呼ばれ、数多くの郷土芸能の団体が存在する。人と人、世代と世代を繋ぐ役割を果たしてきた郷土芸能の再興を通じて、被災地の人々がかつての生活と郷土の文化に誇りを取り戻すことが、復興にとって重要な要素となっている。これを単なる復興に留めずアジアとのネットワークに発展させることで、世界の中の郷土芸能という観点から、その価値を再発見・再認識する。また、自然災害の多いアジア地域において、今回の被災の教訓を共有し、将来の災害に備えるため、「復興における郷土芸能の役割」や「被災地の郷土芸能の保存」等について、研究機関や行政機関と連携して、調査・研究を進めていくことも課題となっている。こうした理念を基に、主催：国際交流基金アジアセンター・共催：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）は、「三陸国際芸術祭（サンフェス）」とも連携を取りながら、年間を通して東北とアジアを芸能で繋ぐ「Sanriku-Asian Network Project（サンプロ）」を実施している。2017年度はインドネシア、マレーシアから芸能団体を招聘するとともに、宮城県・岩手県の鹿踊をインドネシア・バリ島へ派遣し、芸能による交流を図った。

実施体制

■主催：国際交流基金アジアセンター、JCDN

実施内容（日時・場所・概要）

A) アジアの芸能を招聘するプログラム

アジアの芸能団体を招聘し、東北各地の郷土芸能団地後交流し、互いの芸能の成り立ち、動き、音楽など様々な角度から、互いを知る機会とする。その中から一緒にアジアの新しい芸能を創る可能性を探る。招聘団体はサンフェス2017プログラムに参加（海外芸能プログラムディレクター：武藤大祐）。

招聘団体1：チルボン仮面舞踏（インドネシア）

<サンフェス参加プログラム>

『ケセンイタナミ映像祭』 アジア芸能特集

■8/11（金祝）10：30-23：00@KESEN ROCK FREAKS

『仮面の魅力～ミミ・ラシナの生涯～』『祖母からの伝言』

『Lives od Bajau～海の民の営み～』上映+座談会

『夜神楽』 ■8/11（金祝）18：30-21：30@特設テント

『にわかり』 ■8/12（土）10：30-13：30@大船渡地区・公民館

『永遠のみなと大船渡「三陸の若者が集う」』■8/12（土）14：15-15：00@コミュニティスペース

『夜神楽』 ■8/12（土）18：30-21：30@特設テント



招聘団体2：バジャウ族伝統芸能（マレーシア）

<サンフェス参加プログラム>

『バジャウをおどる』

■8/11（金祝）14：15-14：45@千年広場

■8/12（土）17：00-17：45@コミュニティスペース

『にわかり』

■8/12（土）10：30-13：30@大船渡地区・公民館



B) 被災地の郷土芸能をアジアに派遣するプログラム

被災地の郷土芸能がアジアを訪れ、その地の芸能とより深い交流を行う。芸能の交流だけではなく、その地の芸能のあり方や継続の方法、国の文化政策などの情報を得ることにより、被災地の将来に向けた構造を考えるきっかけとする。

『高校生鹿踊部バリ島で舞う』

■期間：2018年3月23日-30日

■対象：宮城県行山流水戸辺鹿子躍保存会（2名）
岩手県立大東高等学校行山流鹿踊部ほか（5名）

■内容：派遣団一行は、バリに根付く伝統芸能が人々の暮らしと密接につながりあう様子を学び、訪問先では、バリの踊り手、大学生、高校生らに東北に伝わる鹿踊（ししおどり）を披露し意見を交わしました。今後、東北の新たな芸能の担い手として成長、活躍してゆくことが期待されます。



こちかぜ（東風）キッズダンス

一東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた地域力創造プログラム2017

事業区分	主催事業	事業費の金額	930千円	従事者	1名
------	------	--------	-------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

東山区の地域の子供たちに、ダンスによるワークショッププログラムを取り入れる事で、心身共に健康な‘生きる力’を蓄えた子ども達の育成に取り組むこと、そうした地域を支える人材を育てる‘ひとづくり’を通して、この地域の活性化につなげていくことを目的とする。活動を継続することで子どもたちや関係者（地域の方、先生方など）との関係性を深め、本プログラムを通じた子どもたちの成長や変化を丁寧に見ていく。同時に、本プログラムが地域の子どもにとって「第3の場」となる事を目指す。2017年度の基本方針として以下3点を中心に各プログラムを実施した。

- ・子どもたちの自発的なコミュニケーション能力・創造力のさらなる向上
- ・東山いきいき市民活動センターを拠点に、地域の内と外の交流を促し、開かれた場作りをめざす
- ・活動の成果をフォトブック＋報告書にまとめ、東山独自の試みと意義を全国に発信する

実施体制

- 主催：JCDN ■共催：京都市東山いきいき市民活動センター ■特別協力：三条学童保育所
- ダンスワークショップナビゲート：セレノグラフィカ（隅地菜歩・阿比留修一）
- 美術ワークショップナビゲート：出川晋 ■アシスタント・サポート：千代その子・室田敬介・野中香織
- ワークショップ協力：小泉朝未・米澤百奈 ■写真記録：草本利枝
- 企画・制作：神前沙織（JCDN）、岡本卓也（京都市東山いきいき市民活動センター）

実施内容（日時・場所・概要）

2017年 7月－11月 ※計12回	①メインプログラム：前期 【京都市三条学童保育所の子どもたちとのワークショップ＆公演】 【会場】京都市東山いきいき市民活動センター多目的ホール(体育室)、京都市三条学童保育所 【参加者】三条学童保育所と近所の小学生（1年生～4年生） 計15人 ※ワークショップのみの子も含む
11/5	①成果上演 「三条まちづくりフェスタ2017」
2018年 1/5、18	②アウトリーチ 【京都市三条保育所での1日ダンスワークショップ】 1/5（金）10:00-11:00 対象：5才児 計18人 【京都市開晴小中学校5組(育成学級)での1日ダンス・美術ワークショップ】 1/18（木）8:55-11:35 対象：小学1年生—中学3年生 計18人
1/20 2/10 ※計2回	③メインプログラム：後期 【公募ワークショップ『こちかぜキッズのダンスナンバーを踊ってみよう！』】 第1回 1/10日(土)11:00-12:30 「チェッカリ」「エラステネスの篩」 第2回 2/10日(土) 11:00-12:30 「4-2-1 Step」「バハマン！」 【会場】京都市東山いきいき市民活動センター会議室105 【参加者】延べ人数：子供22人
3月	④研究・評価 【フォトドキュメント＋別冊報告書の製作・配布】

振り返りの会より（今年度の成果）

- ・本番に向け集中して練習に取り組む姿が見られ、その時どうすべきか判断してコントロールするようになっていく。また、公募のワークショップでは、新しく参加した子ども達に対してアドバイスする等、ダンスを通して他者とコミュニケーションを取る姿が多くみられた。
- ・この事業を通して関わり続けてきた大人に対して信頼を寄せてくれるようになり、新しく出会った大人に対してもきちんとコミュニケーションを取り、関わる姿がみられた。子ども達が学校や家庭、地域をこえて私たちのような「大人」に接することで、この取り組みの場が自分らしくいられる場所となっており、同時に開放的な表現が生まれている。
- ・東山三条地域の夏の恒例祭り「まちづくりフェスタ」では、こちかぜキッズの活躍を地域の方に楽しみにしてもらえるようになった。特異な地域性（同和地区）のコミュニティではあるものの、地域の子どもと長くお付き合いをしてきた事で、少しずつ地域の方に理解と信頼を寄せてもらえるようになってきている。
- ・学童保育所の先生方との連携が密になり、「子どもが成長するなら」と次に向けて能動的な提案をいただくようになった。（※詳細はこちかぜキッズダンス PHOTO DOCUMENT ＋ 別冊報告書を参照）

コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール2017

事業区分	主催事業	事業費の金額	1,860千円	従事者	2名
------	------	--------	---------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

コミュニティダンス・ファシリテーターを国内で養成することを目的に、2014年にスタート。英国のFoundation for Community Danceが、毎年夏に開講している‘Summer School’をモデルに、ダイアナ・アマンズ、セシリア・マクファーレンを講師に招き、「基礎」「応用」の2コースを開講してきたが、2017年度は新たに「プロ」コースも新設。2年間のカリキュラム終了後のフォローアップ体制を充実させた。このスクールを通して、社会とダンスのつなぎ手となるファシリテーターとともに、今後の日本のコミュニティダンスにおける新たな可能性を切り開いていきたい。

実施体制

- 主催：JCDN（スクール長：佐東 事務局長：神前）
- 講師：ダイアナ・アマンズ（Diane Amans）、セシリア・マクファーレン（Cecilia Macfarlane）
- 日本人アドバイザー：アオキ裕キ、新井英夫、北村成美、隅地茉歩、マニシア
- レクチャー・トークナビゲーター：稲田奈緒美、佐東範一（JCDN）

実施内容（日時・場所・概要）

<全体概要>

- 日程：2017年11月23日（木祝）～26日（日）
- 会場：大阪府立少年自然の家（〒597-0102 大阪府貝塚市木積秋山長尾3350）

<コース別対象者・参加実績>

- ①基礎コース・・〔2年制〕担当講師：ダイアナ・アマンズ【公募】参加20名
対象：自身のダンス経験を活かしてコミュニティダンス・ファシリテーターとしての活動を始めたい方。また、基礎となる理念や知識・スキルを学び、自身の活動に活かしたい方。
- ②応用コース 担当講師：セシリア・マクファーレン【非公募】参加7名
対象：2014～2016年度の基礎コース受講生。
- ③プロフェッショナルコース【非公募】参加6名
対象：2014～2016年度の応用コース修了生。

<実施プログラムスケジュール>

1月23日（木）Day-1 <基礎・応用>

- 13:00～14:30 (90min) オリエンテーション+移動
- 14:30～17:00 (150min) Class Session 1 応用（セシリア）
- 14:30～16:00 (90min) Class Session 1 基礎（ダイアナ）
- 16:00～17:00 (60min) Opening Talk 基礎 日英のコミュニティダンス（ダイアナ・稲田・JCDN佐東）
- 18:00～20:00 (120min) Group Session 1 全員 全員でダンス（ダイアナ・セシリア）
- 20:00～21:00 (60min) ふり返りとシェア 選択制（稲田）

11月24日（金）Day-2 <基礎・応用・プロ>

- 9:30～12:00 (150min) Class Session 2
- 13:00～14:15 (75min) プロコース生紹介・グループセッション前のイントロダクション 全員
- 13:30～15:30 (120min) Group Session 2 全員 コミュニティダンスグループでの振付（ダイアナ）
- 15:30～17:30 (120min) Group Session 3 全員 コミュニティダンスグループでの振付（セシリア）
- 18:30～21:00 (120min) Talk Time テーマ別トーク（トークナビゲーター、アドバイザー、事務局）

11月25日（土）Day-3 <基礎・応用・プロ>

- 9:00～11:30 (150min) Class Session 3
- 12:30～16:30 (240min) Pro's Workshop プロ・応用（セシリア・隅地・マニシア）
- 12:30～14:30 (120min) Lecture 基礎 安全なワークについて（ダイアナ）
- 14:45～16:15 (90min) Lecture 基礎 資金づくり・企画運営（JCDN佐東・稲田）
- 16:30～17:45 (75min) Advisor's Presentation 全員 最近の事例報告（アドバイザー5人）
- 18:15～20:30 交流会 @ほの字の里

11月26日（日）Day-4 <基礎・応用>

- 9:30～12:00 (150min) Class Session 4
- 13:00～15:00 (120min) Talk Session 全員 企画を考え、夢を語ろう（稲田）
- 15:15～16:30 (75min) クロージングイベント 全員

文部科学省「文化芸術による子供の育成事業

ーコミュニケーション能力向上事業ー」＜コーディネーター実施方式＞

事業区分	主催事業	事業費の金額	3,910千円	従事者	3名
------	------	--------	---------	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

文部科学省の委託事業。からだを使ったコミュニケーションや創作方法である“ダンス”を通じて、児童生徒の創造力・想像力・コミュニケーション力の向上を目的に、アーティストが学校へ出向いて行うワークショップをコーディネートする。同時に、教員対象の実技指導講座なども行っている。2017年度は滋賀県大津市、大阪府堺市、沖縄県の計9校で実施した。

実施体制

■コーディネーター：JCDN ■地域コーディネーター 飯田裕子(大津)、横山海二(堺)、沖縄ダンスネットワーク(沖縄)

実施内容（日時・場所・概要）

	学校名	日程	講師	補助者、音楽等
大津	北大路中学校	11/1	隅地茉歩	阿比留修一、出川晋、野中香織、西岡樹里
	下阪本小学校	1/22,29.2/26	坂本公成	森裕子、日置あつし、野中香織、辻本佳、合田有紀
	堅田小学校	12/4,11,18	阿比留修一	隅地茉歩
堺	榎小学校	10/31,11/8,10	隅地茉歩	阿比留修一
	浜寺小学校	12/7,18,1/25	東野祥子	佐々木健二郎
沖縄	八重瀬町立新城小	12/19-21	知花幸美	山田あゆみ、犬塚拓一郎
	西原町市西原南小	1/10-12	北尾亘	知花幸美、山田あゆみ、天久恵子、犬塚拓一郎
	石垣市立平真小	1/15-17	マニシア	山田あゆみ、村上明子
	北谷町立桑江中	2/19-21	マニシア	知花幸美、山田あゆみ、天久恵子、犬塚拓一郎、山田一人

教員・児童生徒のアンケート結果より

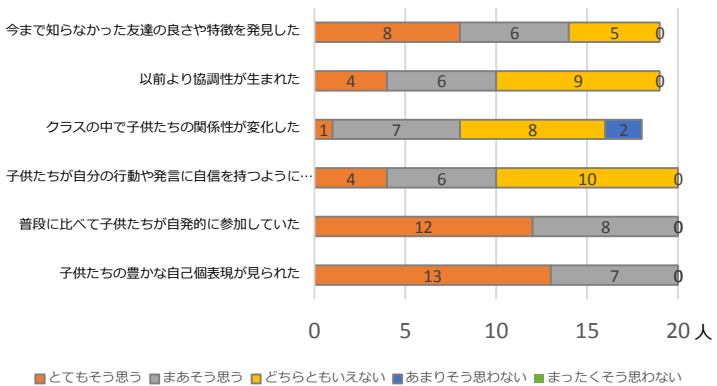
＜教員アンケートより＞

●率直に楽しかったという感想が多かった。最初はすごく緊張していたということ saying 言っていた人も中にはいたが、ダンスを終えたあとの生徒の表情はとても輝いていた。●実際に授業をしていただく中で、子どもたちがどのような活動に興味を示し、自発的に活動するのかを再確認することができた。日常的に自己表現の苦手な子や、表現運動を好まない子も積極的に運動することができていた。●ダンスを通してこのような体験ができる事を初めて知ることができ、私自身とても新鮮で貴重な体験ができた。●教師や私たちがこういう事業を知ることがもっともっと必要なんだとあらためて感じさせてくれた。大人になっても学び続ける姿勢や知ることの重要性、挑戦することの偉大さを感じた。●表現運動の指導のための手立てを学ぶことができた。

＜児童生徒アンケートより＞

●自分を表現するために色々な仕方があって、これがダンスの良さなのだなあと思った。●自分が普段やらないことをやって、自分ってこういうことができるんやと思った。●友だちじゃなくても気づけば一緒に踊っていて、普段知らない人と、いきなり何かをするということがないので、すごく嬉しかった。●みんな色んなことをしていた。やっぱり一人ひとりが違うんだなと思った。

事業を通して見られた児童生徒の様子(教員アンケートより)



鳥の演劇祭10コーディネート

『サング・シカノ（鹿野の血）』

事業区分	コーディネート事業	事業費の金額	500千円	従事者	1名
------	-----------	--------	-------	-----	----

事業の趣旨

鳥の劇場運営委員会主催「鳥の演劇祭」とともに歩んできたとりっとダンス。めでたく10周年を迎えた2017年度の企画で、コーディネートをを行った。京都/N.Y を拠点に活動する余越保子さんを振付家として迎え、「サング・シカノ（鹿野の血）」を制作。能の「山姥」と余越さんの若い頃の作品「Shuffle」と、とりっとメンバーの一人の企画「鬼」と、マーサグラハムの自伝『血の記憶』と、いろいろな要素が、とりっとダンスのメンバーとつくりだされ、これまでのとりっとダンスとは一味違った魅力を観客に提供した。

実施内容（日時・場所・概要）

- 日程：2017年 ①9月9日（土）12：00 ②9月10日（日）12：00
- 会場：議場劇場（急鹿野町議場）
- 料金：大人：1,500円 / 18歳以下：無料
- 構成・演出・振付：余越保子
- 振付・演出助手：渋谷陽菜
- 美術：出川晋
- 衣裳・出演：とりっとダンス
- 協力：長谷川浄二
- 企画協力：JCDN
- 動員数：約150名

さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業

チームたまーりん身体表現ワークショップ+発表公演

事業区分	コーディネート事業	事業費の金額	400千円	従事者	1名
------	-----------	--------	-------	-----	----

事業の趣旨

さいたまスーパーアリーナが主催する青少年育成事業に関連して、一昨年度より引き続き、振付家のコーディネートやワークショップ内容、公演プログラムの企画検討などを協働した。

実施内容（日時・場所・概要）

- 1) 短期集中講座 8/24（木）、25（金）13：00-16：00
 - 2) 作品制作ワークショップ 8/26（土）～
 - 3) 発表公演 10/22（日）『チームたまーりん発表公演 GLOWING UP!』
- 会場：さいたまスーパーアリーナ4階 TOIRO
 - 主催：株式会社さいたまスーパーアリーナ
 - 後援：（財）さいたま市文化振興事業団、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会
 - 対象：定員30名程度、5歳～高校3年生まで
 - 講師：【ダンスワークショップ】佐藤美紀、笠井瑞丈、藤田善宏 【演劇】中村公平、劇団ハーベスト
 - 動員数：約100名

7.その他、講習・政策提言・アドバイザー等

舞踊年鑑 編集委員（佐東）

公益社団法人日本バレエ協会が文化庁委託事業として取り組む「舞踊年鑑アーカイブ事業」。その編集委員として上演記録のデータ収集に協力するとともに、以下の公開座談会にモデレーターとして登壇した。ジャンルを超えて、ダンスアーティストが語り合う初めての場となった。

『H29 年度舞踊公演アーカイブ事業 公開座談会舞踊分野にとつてのアーカイヴ』

- 日時：2017 年12 月22 日（金） 13:00～18:00
- 会場：慶應義塾大学三田キャンパス 東館6 階 G-Lab（東京都港区三田2-15-45）
- 主催：公益社団法人日本バレエ協会、舞踊公演アーカイブ事業委員会（H29 文化庁委託事業）
- 共催：慶應義塾大学アート・センター
- プログラム

<第1 部>

アーカイヴが整備されていないことで、日本の舞踊界は何を失っているか？～文化政策、研究、学芸分野などの専門家によるディスカッション

【パネリスト】唐津絵理（愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー）、原田亮一（国立劇場 制作部伝統芸能課）、堀口昭仁（文化庁 長官官房政策課）、森下隆（慶應義塾大学アート・センター）

【モデレーター】米屋尚子（日本芸能実演家団体協議会）

<第2 部>

舞踊作家の育成とアーカイヴ ～なぜ日本で舞踊作家が育ちにくいのか？

【モデレーター】佐東範一（JCDN）【パネラー】バレエ 小山久美（スターダンサーズ・バレエ団／昭和音楽大学バレエ研究所）、現代舞踊：中村しんじ（ナチュラルダンスアトル）、日本舞踊：西川箕乃助（西川流 宗家後継）、コンテンポラリー：川口隆夫、ストリートダンス：カリスマカンタロー、コンテンポラリー：黒田育世（BATIK）

アーツマネジメント研修派遣 特別講座トークセッション／沖縄（佐東）

沖縄県が主催する「アーツマネージャー育成事業」の平成28年度アーツマネジメント研修者をJCDNが受け入れたことに関連して、研修者報告会・特別講座トークセッションにパネリストとして登壇。

- 日時：2017年8月29日（火） ■会場：沖縄市民会館中ホール ■主催：沖縄県（アーツマネージャー育成事業）

「3.11いわて文化復興フォーラム」／盛岡（佐東）

いわてアートサポートセンターによる、「文化芸術の市民参加とコミュニティ形成」をテーマにしたディスカッションに登壇

- 日時：2018年3月11日（日） ■主催：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

平成29年度公共ホール現代ダンス活性化事業（佐東+神前）

（一社）地域創造主催の「ダン活」事業において、佐東がチーフコーディネータを、神前がサブコーディネーターを務めた。

- 佐東担当：（8月）豊橋市、（12月）北九州市
- 神前担当：（7月）上田市

城崎国際アートセンター アドバイザー（佐東）

アートセンターの企画段階から関わり、現在は、ダンス部門のアドバイザーを担当する。

京都府・文化の知恵袋委員（佐東）

5年目になる「文化の知恵袋」委員。京都ならではの、能、お茶、お香などの数百年続いている伝統文化の委員の方々と、京都全域の小学校に各分野のアーティストを派遣する事業を継続的に行っている。

「ダンスワーク」往復書簡 執筆（佐東）

季刊「ダンスワーク」にて往復書簡「JCDNの仕事」を連載。

琉球新報リレーコラム連載担当（神前）

琉球新報教育面のリレーコラム『未来へいっぽにほ』にて2017年4月～9月まで月1回連載を担当。

JCDNwebサイトリニューアル

事業区分	自主事業	事業費の金額	-	従事者	2名
------	------	--------	---	-----	----

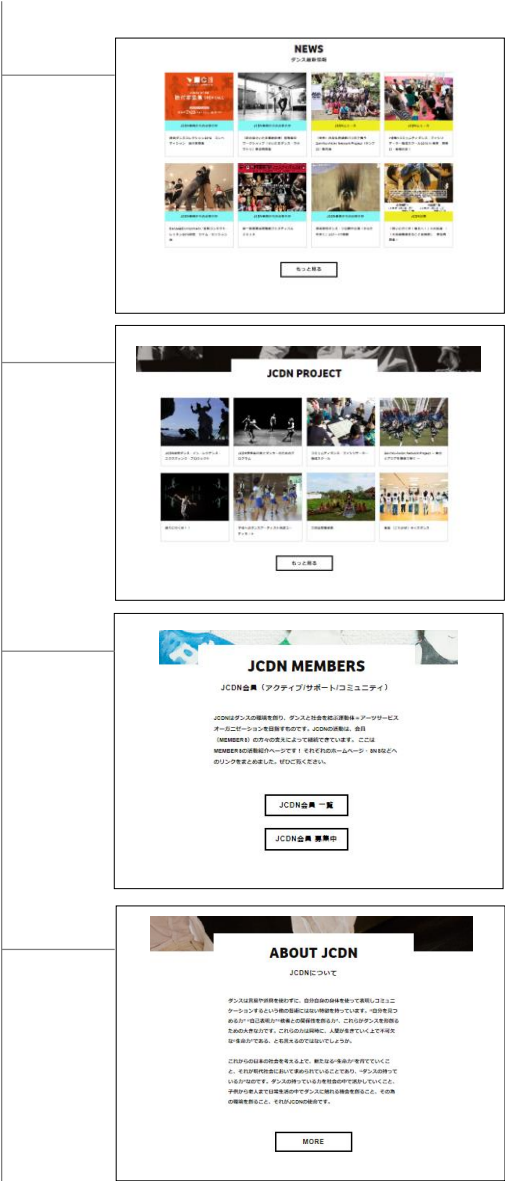
事業の趣旨・目的（ねらい）

従来のwebサイトの分かりづらさや課題を解決し、JCDNの多様化する活動を改めて整理すること、会員の活動をサポートすることを目的に、サイトをリニューアル。2017年11月より新サイト運用を開始。

■リニューアルのポイント

- ・デザインを一新、情報発信力とアーカイブ機能強化の両立を目指した
- ・JCDNの法人としてのメッセージ発信（JCDNの目指すもの、沿革・略歴、法人情報の掲載）
- ・主催事業を見える化（アーカイブ機能と進行PJの情報発信の強化）
- ・会員サービスを見直し（会員一覧＝MEMBES、お知らせ＝NEWS）

提供サービスの内容



- 「NEWS」
ダンスに関する最新情報を掲載
 - ・JCDN会員からのお知らせ
 - ・JCDNニュース
 - ・JCDN公演
 - ・JCDN公募
- 「JCDN PROJECT」
JCDNが主催/共催するプロジェクトの一覧
 - ・現在進行系のプロジェクト →各PJ詳細サイトへ
 - ・過去のプロジェクトのアーカイブ
 - ・JCDN発行物
- 「JCDN MEMBERS」
JCDNの会員に関するページ
 - ・JCDN会員一覧 →会員HPリンク等へ
(アクティブ/サポート会員のうち掲載希望がある方のみ)
(現在66会員掲載中)
 - ・JCDN会員募集案内 →申込みフォームへ
- 「ABOUT JCDN」
JCDNの法人理念や概要を掲載
 - ・JCDNのミッション
 - ・主な活動内容
 - ・沿革・略歴
 - ・法人概要

■各種リンク（twitter、facebook、ダンスリザーブ）

JCDN会員サービスの改定

事業区分	自主事業	事業費の金額	-	従事者	1名
------	------	--------	---	-----	----

事業の趣旨・目的（ねらい）

7月の会員更新、JCDNwebサイトリニューアルを受けて、会員の方へのサービス力向上をめざし、提供内容と対象、方法の見直しを図った（改定後の掲載希望は、メルマガ月平均3件、NEWSコンテンツ月1件程度、不定期DMサービス1回6件程度）。より利用しやすい環境を今後も検討していきたい。

■改定のポイント

- ・各種サービスの内容と対象者、有料/無料、定期/不定期等のフォーマットを再検討
- ・メルマガ+web「NEWS」コンテンツのダブル利用等、会員からの公演等の情報発信に注力

提供サービスの内容

	(※後項にて詳細)	アクティブ	サポート	コミュニティ
JCDNメールマガジンの配信（月1回）		○	○	○
JCDNメールマガジンへの投稿（月1回） ※1		○	○	
公演・ワークショップ情報の送付（DM）		○	○	○
JCDN主催事業・関連事業の割引、及び会員主催のダンス公演等の割引		○	○	○
JCDNダンスミーティング（総会）への参加資格		○	○	
主催事業の報告書、年次事業報告書の送付		○	○	○
新JCDN Membership Dance File（WEB）での活動紹介（MEMBERSページ） ※2		○	○	
公演、ワークショップ等の活動情報を、JCDNサイト「News」に掲載 ※3		○	○	
サポート会員からの企画やJCDNに対しての提案などを話し合う機会を設ける			○	
JCDN ダンスリザーブ オンラインチケット予約システム ー 公演・ワークショップ登録・取扱い		○		
メールニュース配信サービス（ダンスリザーブ登録公演）		○		
DM同封サービス（無料/年2-3回程度/不定期） ※4		○		
DM郵送サービス（要実費+作業手数料）		○		
助成金情報などの提供、各活動に必要な情報の提供や相談など		○		

「JCDNメールマガジン」情報掲載[無料]対象：アクティブ
JCDNメールマガジン（全会員+ダンスリザーブ利用者へ毎月配信）へ、アクティブ会員からのエッセイやお知らせ、また公演情報を掲載。

※2
「JCDN MEMBERS on WEB」（旧ダンスファイルon WEB）[無料] 対象：サポート&アクティブ
会員情報をまとめた冊子「JCDNダンスファイル」を2007年よりWeb版に移行。JCDNwebサイトリニューアルに伴い、「JCDN MEMBERS」として再出構築。会員のプロフィール写真、簡易履歴、各人のHPリンク等を掲載。

※3
「JCDN WEB NEWSでの情報掲載」[無料] 対象：サポート&アクティブ
公演、ワークショップ等の活動情報を、JCDNwebサイト内の「News」に掲載（更新原則として1か月に1回）。

※4
「DM同封サービス」[無料] 対象：サポート&アクティブ
JCDN主催事業のお知らせ送付時に、会員の方からのチラシを同封。時期は不定期（年2-3回予定）。送付対象はJCDN会員約100名、発送時期は毎月のメールマガジンでお知らせ。

貸 借 対 照 表

(単位：円)

NPO法人 ジャパン・コンテンツ・リーダーズ・ネットワーク

平成30年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 47,113,743】	【流 動 負 債】	【 23,759,767】
現金及び預金	13,113,634	短期借入金	21,675,495
商 品	730,326	未 払 金	1,863,812
立 替 金	1,819,125	預 り 金	150,460
未 収 入 金	30,673,017	法人税等充当金	70,000
前 払 費 用	777,641	【固 定 負 債】	【 20,534,000】
【固 定 資 産】	【 100,004】	長期借入金	20,534,000
(有形固定資産)	(4)	負債の部計	44,293,767
工具器具備品	4	正味財産の部	
(投資その他の資産)	(100,000)	【株 主 資 本】	【 2,919,980】
差入保証金	100,000	[正 味 財 産]	[2,919,980]
		(その他利益剰余金)	(2,919,980)
		正 味 財 産	2,919,980
		(うち当期増減額)	(Δ1,567,466)
		正味財産の部計	2,919,980
資 産 の 部 計	47,213,747	負債・正味財産の部計	47,213,747